

平成 26 年 12 月度県内産業景気動向調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

12月 は、受注や売上が、食料品、小売業、商店街及び運輸業では増加と減少が混在した。繊維工業、一般機器、輸送機器、建設業から受注や売上が増加したとある一方で、卸売業、木材・木製品、印刷、サービス業からは減少した、報告である。また、運輸業の一部ではあるが、原油価格の下落が利益確保への追い風となっている。

景気は「一部に弱さがみられるが、全体としては緩やかに回復している」とされているが、同一業種でも景気感に差があり、まだら模様の景気動向に変化はなく、先行き不透明感も残っており、今後の経済対策等に期待したい。

山口県の主要指標 DI 値（平成 26 年 12 月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：7.5% 悪化：33.8% DI 値：▲26.3% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、増加：17.5% 減少：28.8% DI 値：▲11.3% ポイント

収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI 値〉）

前年同月比は、好転：11.3% 悪化：30.0% DI 値：▲18.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 26 年 12 月末現在）

				
30 以上	30 未満～ 10 以上	10 未満～ ▲10 以上	▲10 未満～ ▲30 以上	▲30 未満

食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲42.9	▲50.0	▲66.7	▲100	▲33.3	22.2	0.0	▲27.3
							

卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	全非製造業
▲40.0	▲44.4	▲25.0	▲41.7	0.0	0.0	▲25.5
						

全体
▲26.3


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	原材料の値上げが続く中、依然として価格転嫁できない状況が続いている。消費税10%の延期を喜んでいる組合員が大半である。クリスマスケーキは、バターの代用品で製造したところもある。また、クリスマスケーキの値上げを行った店舗が多い。	パン・菓子製造業
	11月は対前年同月で+24%の大幅アップとなったが、12月は前半のシケ、荒天等の影響で伸び悩み、対前年同月で+7.5%となった。4～12月の累計では前年同期比で+13.7%と好調を維持しており、開業14年目でこれまでの最高売上・利益となる。平成27年も、NHK大河ドラマ等の効果で、順調な業績が期待できる。設備投資としてEV用200V普通充電器（既設）に加え急速充電設備を平成27年1月1日から共用開始する。また、経年劣化の進む大型製氷機とプレハブ冷凍庫2基の設備更新を実施した。	水産食料品製造業 萩市
	先月に引き続き、販売量が減少。消費が鈍っている。地方だけでなく大都市圏でも同様に落ち込んでおり、全体の景気が悪い。	水産食料品製造業 下関市
	季節はずれの長雨が続くなどの天候不順の影響で、作業の進捗状況が遅れ気味となっている。また、昨今の米あまり基調に伴い、米の取引価格の低下についても、回復するような傾向ではなく、このままでは、米の生産の継続ができなくなる生産者が増えることが懸念されている。	精穀・製粉業
繊維工業	今月も販売取引先の新商品切換えで一時的に受注増となっている。ただし、店頭の流れ行き状況はいい状態ではないため、依然として先が読めない。	下着類製造業
	消費税増税ショックから未だ回復できていない。	外衣・シャツ製造業 山口市
	円安の為かメーカーが国内生産を求めている現状と、以前より製造工場が減少している為に、小ロットながらも方々から引き合いがあり、そこそこ忙しくしている。	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	新設住宅着工数は、消費税増税の反動が続き回復の兆しはない。スギ中丸太価格も高止まりで推移。	製材業・木製品製造業 山口市
	住宅着工数が低調で受注が少ない。	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	円安により原材料及び経費の負担が増え、消費物価の相次ぐ値上げで先行きは不透明である。原油価格の下落で円安の影響がカバーされているが安穏とす	印刷 下関市

	<p>ることはできない。大手はアベノミクスの恩恵を受けているようであるが、地方はまだまだで、格差が広がっている。</p>	
	依然として受注が少なく、売り上げも伸びない。	印刷 山口市
窯業・土石製品	前年同月と比べ、再生路盤材の出荷数量は上がっているが、骨材、路盤材に関しては、出荷数量もかなり減っている為、在庫が山積みになっている。業界の動向は前月と変わらず。	砕石製造業
	出荷量は、前月比94%、前年同月比84%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていないが、砂利など原材料価格が一部値上されている。	生コンクリート製造業
	少子化により将来の需要の減少が予測されるため業界全体の気運が下がっている。	石工品製造業
一般機器	原油価格の上下変動に製品の取引価格をどうするか、事業者は悩んでいる。	一般機械器具製造業 周南市
	12月の景況は、ここ2~3か月と同じく好調。自動車関連、構造物製造関連（体育館の耐震工事）など前月に引き続き良好。雇用は求人難が続いており、このことを考えると機械への設備投資を行って、さらなる省力化を図っていく必要がある。これまで見積もりを出しても中国、韓国への発注となっていたものが、インドネシア等から、少しずつ受注が取れ始めている。	一般機械器具製造業 防府市
	機械製造関係、食品加工、スーパー等の人手不足から、外国人技能実習生早期受け入れ、増員の相談があり、建設関係からの相談も増えている。しかし、実習生は入国まで6ヶ月位必要となるので、つなぎのための臨時職員の紹介を依頼されることも多い。ハローワークに登録しても臨時職員の確保も難しく、一部、派遣頼みの企業もあり、企業によっては残業が増えている。また、外国人留学生の就職を希望する企業もあり、タイ、中国の2名の留学生の就職が決定した。	一般機械器具製造業 宇部市
	前月と同じく、売上高が増加傾向で推移している。	一般機械器具製造業 宇部市
	12月金型の設備操業度は11月と同等の設備操業度となった。12月に入りリピート金型の受注が入ったおかげで、1月スタートの設備操業度は上がる見込みだが、設計工数が少ないため、新規金型の受注を進める必要がある。現状1月~4月生産分は何とか仕事量の確保は出来つつ有る現状だが不安要素も多く有り、価格面、納期に関しては相変わらず顧客からの厳しい要望が続きそうである。来年はアベ	特殊産業用機械製造業

	ノミクス効果が我々中小企業に早く波及してくれることを期待しているが、円安が進んでいるので厳しい環境になるように思う。成形製品の生産状況は、新規案件の売上は少しずつ売上に貢献し始めているが、既存の民生部品（家電部品、電子部品）の売上は伸び悩んでいる。設備稼働率を向上させ、受注増に期待するところ。	
輸送機器	鉄道車両、精密機械加工部門とも持ち直してきている。特に精密加工部門は春先まで多忙の作業量が見込まれている。車両部門は年明けに少し落ち込みがみられるが、大きな変動はない見通しである。	鉄道車両・同部品製造業
卸売業	燃料価格が下がり配送コストの軽減による収益が見込める。解散総選挙が行われ与党の圧勝に終わり今後の景気対策に期待したい。	各種商品小売業 山口市
	ガソリン価格が2年前同等の安い価格となり、経費削減となっている。1ℓ：140円（税込）。	各種商品小売業 下関市
	景気の悪化により益々消費が低迷している。新海苔の入札が開始されたが、温暖化の影響か良質の新海苔が品薄で、競争が激しく価格が高騰し欲しい海苔が入札出来ないでいる。	乾物卸売業
	時化が多く魚の入荷が少ないうえに、年末価格で相場が高騰している。そのため、例年より客足が悪く選挙や消費税の影響もあり購買意欲が下がっている。	生鮮・魚介卸売業
小売業	例年通り、店頭は歳末のにぎわいを見せている。しかし客数はあまり増加しておらず、専門店は売上の確保に苦勞している。組合活動の資金源である資生堂の健康食品他のコンテストは23期連続で売上目標が達成でき、ほっとしている。	化粧品小売業
	組合員事業所については12月8日（月）～12日（金）の間、5倍シールポイントのイベントを実施。高齢者が楽しみにしており各店の売上に貢献している。12月は通常月と違い多少、商店街に活気が戻る。金融機関や郵便局に用事のある方が商店街に訪れるのが寄与している模様。駐車場確保のため国道沿いに出店する店が多いが公的機関の商店街への誘致も目指さなければならない。地元スーパー（玖珂ミコー・中央フード）の大手企業への系列下が進んでいる。大手流通業界の価格競争激化により小規模小売業者の廃業が進む恐れを感じている。ガソリン等燃料の値下がりにより一安心をしている。福祉関係創業の相談があり、高齢者対応の仕事が増えるが、国の介護保険の政策により収益が左右されるため、動向を注視している。看護師やヘルパーなど職員の確保に苦勞している施設が多くなっており、これが	各種商品小売業 岩国市

	賃金の上昇を招いており、他業種にも波及する様子である。	
	ツリー祭りも徳山港付近に拡大開催された。商店街への来街者は減少した模様。	各種商品小売業 周南市
	前年よりも休日が一日少ないにもかかわらず売上は若干増加。寒さが功を奏したと思われる。	各種商品小売業 山口市
	先月同様 既存店ベースではほぼ前年並みですが、全体売上、来店客数にすると、かなり下回る状況。	各種商品小売業 長門市
商店街	山口デーが始まり少し売上・客数は増加している。駐車場台数は前年対比で減少している。公務員のボーナス支給時には、客数が少し増となった。	山口市
	年末の売上が例年よりも悪く、収益が悪化したので人員整理の店も出た。	萩市
サービス業	年末商戦とは言い難い状況。2割増し程度の忙しさで、店販商品等の売れ行きがよくない。余分な買い物は差し控えているのだろう。	美容業
	業界の状況は良くない。新しいサロンのあり方を求められていると感じている。	理容業
	次世代自動車の本命と言われる燃料電池車（FCV）の市販が開始された。年間販売予定台数が400台であり、水素ステーションの設置が予定されている都道府県のみとなっているが、将来インフラ整備が進めば急速に普及する可能性がある。	自動車整備業
	対前年比での売上縮小幅は落ち着きつつあるが、売上の減少の底がまだ見えていない。業界自体も減少傾向にあるので、次の一手を考えなければならない。	
	フィットネスジムでは、65歳以上の男性会員が増加傾向にある。スイミングでは、少子化の影響をどう補っていくかが課題。重油価格が下がってきたのは好条件となっている。	スポーツ・健康教授業
	宴会は前年とおりに集客できたが、下関地区の宿泊者は少なかった模様。 部屋数は少ないが“ふく”が提供できる旅館は高額であっても好調であったとのことで、客の財布の紐が少し緩んできたように思う。	旅館業 下関市
	宿泊人員は対前年105.3%と前年をクリアし好調に推移した。売上高も忘年会等の日帰り利用客の増加により前年をクリアした。ビジネス客の増加が好調に推移した要因。	旅館業 山口市
	12月の売上高は前年より減少の見込み。経費の取引条件は前月からの原油価格の下落により一部好転したが、収益は変わらず。入浴等の施設利用収入は減少傾向にある。	旅館業 長門市

	<p>12月は季節的に売り上げが増加する時期で多少の増加をみたが、ベースが上昇しているのではない。地域的には、周南地区、岩国地区が少し堅調に思うが、他は然程増加していない。各組合員の「自助」、組合全体での「互助」、関係するところとの「共助」が必要で、工夫なくして将来はないと思うが、実行は難しい。</p>	飲食業
	<p>年末は大掃除のイメージが強く、クリーニング業もその恩恵を受けて忙しくなる時期だが、今年は前年同月と比べ売上が伸び悩んでいる。節約傾向もあるが、早めに寒波が襲来して寒くなった影響もあると思う。原油価格が急落しているが、今のところ資材価格などに変化はない。</p>	普通洗濯業
建設業	<p>中電への工事申請は11月272件（当支部分240件）、前年同月316件（同248件）。太陽光発電への申請58件、オール電化申請74件（前年は太陽光39件、オール電化61件）。LED街路灯への切替・新設申請は45件（前年33件）であった。</p>	電気工事業
	<p>公共工事の比率が高まっている。民間工事はマンションが中心。この一年技能者不足の中で状況は好転したが、今は横這いの状態か。工期遅延の恐れのある現場が発生している。</p>	左官業
	<p>市町が生活に密着した工事を発注しており、大変良い事に思う。地元の建設業者も年末になり、少し忙しくなっている。しかし、急に忙しくなると労働災害・交通事故等が心配であるとのことで、品質管理も安全管理も財政的に余裕がないと取り組めず、なかなか向上しないとのこと。人員不足が続いている。</p>	土木工事業 柳井市
	<p>年度末に向けて入札はあるが、価格は低い。</p>	土木工事業 下松市
	<p>26年12月の受注高は、対前年同月比で118%。今年度の累計では404%。</p>	土木工事業 萩市
	<p>工事の2月末納期の関係で、12月の発注は殆ど無い。今年度の組合員の状況は、既に十分な仕事量を受注できており、人手不足ではあるが納期に向けて工事を熟している。燃料価格が下がっているが、発注価格も連動して引き下げられるため、収益には関係しない。</p>	管工事業
運輸業	<p>月の後半頃から輸出関連出荷が増加しているが、車両不足が以前より一層深刻化してきた。特に長距離輸送車両不足は全国的な現象の様子。月半ばの降雪時には、高速道路通行止めにより大渋滞となり積込みが不能となった車両が多々見られた。総じて収益は前年同月比でプラスマイナス0である。油関係は</p>	一般貨物自動車運送業 下松市

<p>4. 5円の値下げ。運賃据え置きの中で、油の値下げぐらいでは中小輸送業の経営は依然として改善されない。</p>	
<p>売上は、スポット需要もあり前年同月比で若干上向いた。燃料価格は下落傾向にあり、この状況が続くことを願うばかりである。今一番の問題は人手不足にあり、どの組合員も頭を悩ませている。コスト削減は限界にきており、運賃が上がらない限りこの問題は解決されそうもない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p>
<p>物流に関しては、年末に向けて繁忙期を迎えている。特に年末商戦やお歳暮等の需要により食品輸送関係が伸びてきている。また原油価格の下落による軽油の値下がりも利益確保への追い風となっている。倉庫保管案件も順調であり、特に輸送と保管がセットになった受注が増えてきている。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p>
<p>運送業界の切望である燃料の引下げはありがたい。市場価格で1ℓ：119円のところ、当組合の仕入値は1ℓ：114.5円である。心配なところは景気の悪さが相変わらずで、運賃の値下げとなっている。特に天候に左右され運行が容易でない事が増えている。無事故、安全運行が重要である。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 下関市</p>
<p>タクシーチケットの取扱い金額は、消費税込の金額で、前年同月比▲1.1%（平成26年11月1日～平成26年12月20日分）。11月1日～30日分は▲3.8%、12月1日～20日分は+2.1%となった。長く続いた売上減少が、9月、10月に増加に転じたが、再び減少傾向となり、11月分はもちろんのこと、12月分も消費税を除くと減少している。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、11月分については、周南が大幅に減少、下松、光もやや減少、防府地区が前年より少し増加している。主要燃料であるLPGは、CP（通告価格）と為替に連動して変動するが、原油価格の下落に連動して、ブタン、プロパンのCPは前月分よりもさらに下降。円安が進んだが、購入単価は先月よりも4%下がって、前年12月分に比べ10%安価となっている。12月の繁忙期に燃料費が下がるのは、大いに助かっている模様である。12月の繁忙期は、時間帯によっては配車が間に合わない時もある模様で、乗務員の収入が減少していることもあり、乗務員確保が大変難しい。地方の中小企業や一般消費者には、円安の悪影響が大いに懸念され、国内消費は厳しい状況が続くものと思われる。</p>	<p>一般旅客自動車運送業</p>
<p>季節的要因による若干の取扱高の伸びが見られた組合員企業はあるものの、全体では伸び悩んでいる。</p>	<p>港湾運送業</p>

	地方の港では、アベノミクス効果の恩恵は受けていない。	
--	----------------------------	--